



誰かと誰かの笑顔がつながり
わたしに笑顔をフれてくる

仕事って、誰かの笑顔のためにある。

採用案内パンフレット特設サイト

先輩職員のインタビューや動画を特設サイトに掲載しています。



LINE公式アカウント

熊本県職員採用

熊本県人事委員会事務局 TEL.096-333-2733 FAX.096-387-4813 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

※掲載の情報は令和2年度の取材情報に基づきます ©2010熊本県くまモン



わたしの知らない誰かが
わたしの仕事で「笑顔」になる

仕事って、誰かの笑顔のためにある。

熊本県職員採用案内

#熊本県ではたらけん

仕事って、 誰かの笑顔のためにある。

うれしいとき、悲しいとき、楽しいとき、苦しいとき
わたしたちは見えないところで人を支え、暮らしに深く関わっている。
この仕事が、誰かを笑顔に変えるかもしれない。
その笑顔で、わたしも笑顔に変わるかもしれない。
今日もまた、いつものように1日が始まる。
わたしの職場は、熊本県。

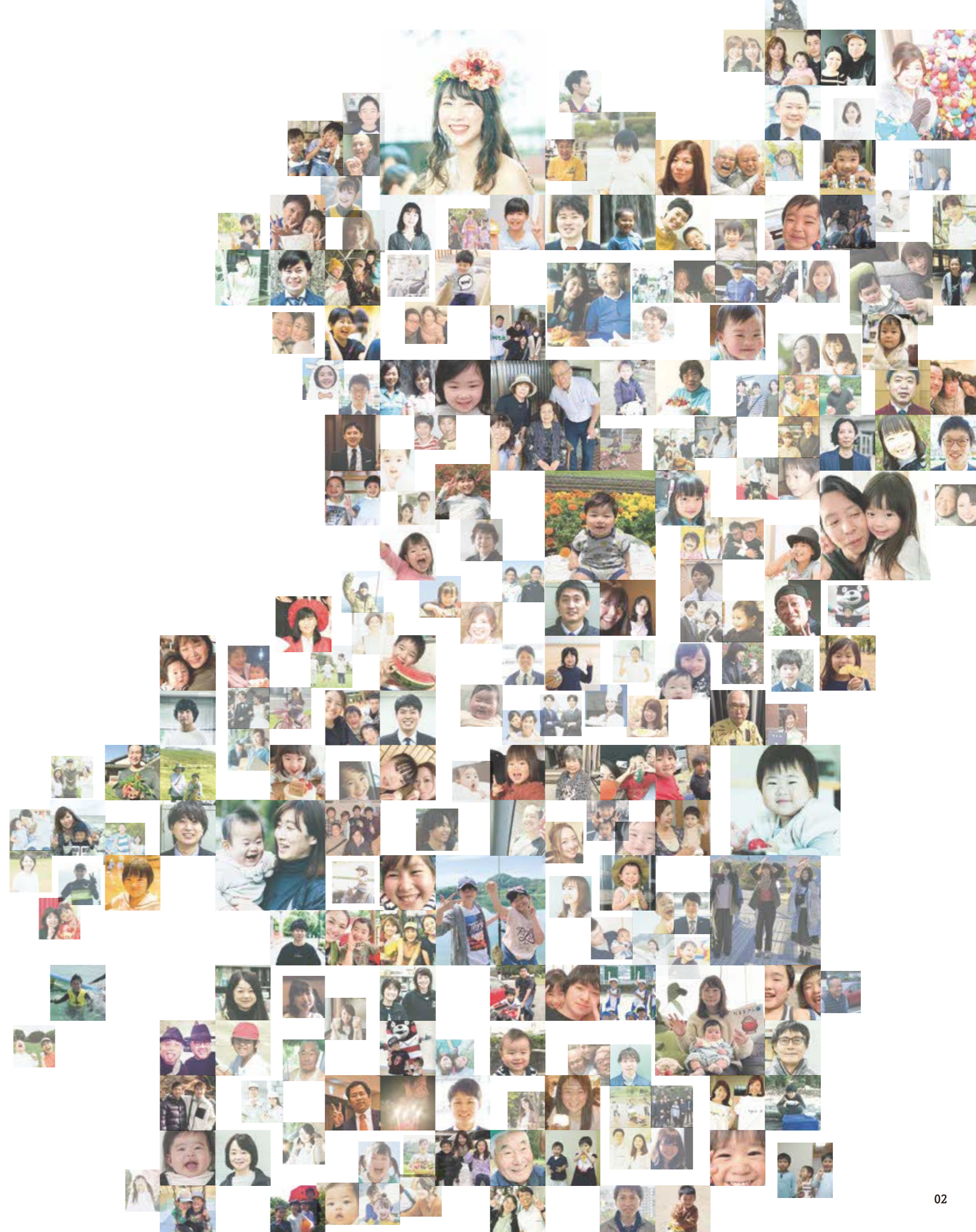
～復興のその先へ～

私たちの熊本県は、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害のトリプルパンチに見舞われ、大逆境の中にあります。

かつて、先人たちは、幾多の困難に遭遇しながらも、不屈の心で熊本を再生し、豊かな自然と誇るべき歴史や文化を引き継いでくれました。

今度は私たちが、愛する熊本を未来へつなぐ時です。創造的復興を成し遂げるには、「逆境の中にこそ夢がある」との信念のもと、リスクを恐れず、創意工夫を重ねる姿勢が重要です。

「新しいくまもと」の創造に向けて、血を割ること、失敗することを恐れずチャレンジを続け、一緒に歩みを進めていきましょう。



「新しいくまもと」の創造

私たちの使命は、逆境の中にある熊本を再生し、更なる発展につなげること。社会の変容を見据え、SDGsの理念に沿って戦略を進め、持続可能な社会の実現を目指します。熊本に住む誰もが未来への夢と希望にあふれ、愛する地域で安全・安心に住み続けることができるように、「新しいくまもと」を創造します。

令和2年7月豪雨からの創造的復興

愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すとともに、県内全域においても災害に強い郷土づくりに取り組みます。

- 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み
- 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

熊本地震からの創造的復興

熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげます。

- くらし・生活の再建
- 創造的復興の推進

新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

感染拡大防止と、大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、社会の変容を好機と捉え、熊本の更なる発展につなげます。

- 感染症対策の体制強化
- 持続可能な社会の実現
- 持続可能な経済活動の実現

将来に向けた地方創生の取り組み

豪雨災害、新型コロナウイルス感染症、熊本地震という喫緊の課題に対応する中でも、安全・安心で未来への夢と希望にあふれる持続可能な熊本の実現や、将来の発展につながる取組みを推進し、地方創生の実現につなげます。

- 次世代を担う人材の育成
- 若者の地元定着と人材育成
- 安全・安心な社会の実現
- 魅力ある地域づくり

県政運営の
基本方針の詳細はこちら



笑顔はひとりじゃつくりえない。強い絆と チームの力で、世界を相手に働こう。

熊本のために力を合わせ、やり抜いたときには、共に 喜び合える。そんな仲間があなたを待っています。



We are the“チーム熊本県庁” 観光から、熊本をイノベーション。



県の仕事は一つの部署だけで完結するものではありません。部署を越えて協力し、民間企業や関係団体等と連携して取り組む事業もあります。熊本県では、2020年に、新しいチャレンジ集団「観光戦略部」を創設。新たな発想で熊本県を盛り上げ、地域や県民に元気を届けます。

Innovation
for
Kumamoto

新しい観光スタイルの創造

最新のデジタル技術を取り入れるなど、他県に先駆けた新しい観光スタイルをつくっていきます。

- MaaS(次世代交通サービスシステム)の実現
- 顔認証システムの導入
- ワーケーションの推進



マンガ・アニメで熊本の魅力を発信

マンガ・アニメコンテンツを使って、新たな角度から熊本ファンを獲得します。

- 熊本ゆかりのマンガ・アニメによるプロモーション
- 「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」による被災地の創造的復興
- 震災ミュージアム等を活用した教育旅行による誘客促進



©尾田栄一郎/集英社

世界を相手に熊本を売り込む

オンラインとリアル融合の融合や、大手企業等との連携により、国内及び世界を相手に、観光客の誘致や県産品の販路拡大にチャレンジします。

- JRとの観光キャンペーン
- ドン・キホーテを展開する株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスとの連携協定



スポーツなどによる交流の促進

サイクリングなどのスポーツと旅行を組み合わせた新しいツーリズムの開発や、国際スポーツ大会の誘致などに取り組みます。また、多文化共生社会の形成を目指します。

- スポーツツーリズムの定着
- 県内プロスポーツチームへの支援
- 多文化共生の推進



わたしたちの仕事

Our Business

熊本県全域を対象に、さまざまな分野で、幅広い業務を経験できます。

事務系

県内全域が対象の仕事。
熊本県の魅力を再発見できます。

行政 商工労働部 労働雇用創生課

平成27年 入庁
平成27年 県南広域本部 総務部 収税課
平成30年 現所属

行政職は県内全域を対象に、各種施策の企画や推進、税務、土木、福祉など、幅広い業務を経験できます。異動の度に新たなことを知ることは、自分自身の成長にもつながります。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内事業所へ専門家を派遣し、雇用の維持・確保に関する個別相談の実施や書類等の作成支援に関する業務管理を行っています。また、県内企業の労働環境の向上や若者の県内就職を促進するため、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる「プライト企業」の認定を通じ、企業説明会やバスツアーなどの企画運営も行っています。県内企業のサポートや、求職者と企業の出会いの場を提供でき、前向きな仕事でやりがいを感じています。

県職員にならないと出会えなかった人や企業がたくさんあります。仕事を通して、さらなる熊本の発展に携わっていきたいです。

ある日のスケジュール

- 8:15 ● 登庁
- 8:30 ● 業務開始
- 10:00 ● 企業からの申請書類確認
- 12:00 ● 昼食、休憩
- 13:00 ● 午後の業務開始
- 14:00 ● 委託業者との就活イベントに関する打合せ
- 15:00 ● 申請書類のとりまとめ、会議資料作成
- 17:15 ● 業務終了



警察学校でともし学んだ
同期の絆は今も変わりません。

警察行政 警察本部 会計課 平成30年入庁

警察行政職は警察活動を支える事務部門の仕事です。現在は、警察署の用地取得や、利用しなくなった財産の売却などを担当しています。ヘリコプターの売却では、全国から入札に参加する方がいて、仕事の規模の大きさを感じました。

採用後には警察学校で研修があり、一緒に学んだ同期生とは強い絆が生まれました。事務職員と警察官は、車の両輪のように互いを支え合う存在だといわれます。職員一人ひとりが力を合わせ、県民の安全・安心を守っています。



生徒の成長を間近で見られる
やりがいの多い仕事です。

教育行政 教育委員会 学校人事課 平成27年入庁

教育行政職は、主に教育委員会、県立学校、小・中学校で仕事をします。県立高校勤務のときは、学校施設の整備や物品購入などを担当。生徒たちの教育環境を整え、成長する姿を間近で見られることにやりがいを感じました。現在は公立学校の授業料に関する業務を行っています。

忙しいときもありますが、業務のすべてが生徒たちのためになると思うと頑張れます。教員とは違う目線で、次世代を担う子どもたちの成長に携わることができます。



県の心理職として
子どもたちの変化を見守り、支えます。

心理判定員 福祉総合相談所 心理判定課 平成31年入庁

心理判定員として、子どもたちのカウンセリング、心理検査などを担当しています。面接を通して、子どもたちが少しずつ変化していることがわかると、この仕事をして良かったと思います。充実した研修で、社会人としても心理士としてもスキルアップできます。

また、職場の雰囲気は温かく、安心して働きやすいと実感しています。県の心理職だからこそ関われる人たちが体験できることがあり、得られるものも多いです。



わたしたちの仕事

Our Business
専門的な分野で、熊本の発展と県民の暮らしに貢献できます。

技術系

インフラ整備をとらして
県民の暮らしに貢献できる
誇りを持つ仕事です。

総合土木(一般土木分野) 阿蘇地域振興局 土木部 工務課

平成23年 入庁
平成23年 球磨地域振興局 土木部 工務課
平成26年 玉名地域振興局 土木部 工務課
平成29年 土木部 土木技術管理課
令和 2年 現所属



働くなら何か人のためになる仕事をしたいと考え、公務員を志望。市町村よりも大きな事業ができ、国よりも地域に密着して携われる県を選びました。現在は阿蘇地域で道路改良事業と災害復旧事業を担当。地元の要望に基づき予算を確保し、設計や工事を発注します。現場に足を運び、完成を見届け、その後の管理を行います。

県職員は熊本県全域を知る必要があります。土木施設だけでなく、地元で有名な食事処や観光スポットなども知ることで、地元の方との調整がうまくいく場合もあります。私自身の知識も広がり、人生が楽しくなりました。地元の方と協力し、関係性を築くことで、地域のためになる道路や施設ができます。県民の声に応え、暮らしに貢献できる仕事です。

ある日のスケジュール

- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 業務開始
- 9:30 ● 災害復旧業務打合せ
- 11:00 ● 外出(工事段階確認検査)
- 12:00 ● 外出先にて昼食
- 13:00 ● 帰庁
- 14:00 ● 工事発注資料作成(積算)
- 17:15 ● 業務終了
- 18:30 ● 班員で懇親会



地元の農業に直結した
「目に見える仕事」です。



総合土木(農業土木分野) 農林水産部 農地整備課 平成27年入庁

農地や水路、農道など地元の農業に直結した基盤整備事業を行っています。自分が発注した工事が出来上がっていく様は、まさに「目に見える仕事」でやりがいを感じます。職場は、職員同士のつながりが深く、アットホームな雰囲気です。

仕事はとにかく現場第一。工事の進捗の確認、地元の方々との意見交換や関係機関との調整など、どんどん外に出るアクティブな仕事です。

専門性を生かして
幅広い分野で
活躍できます。



電気 総務部 財産経営課 平成26年入庁

県外で就職し、30歳を前に地元で働きたいと思い、県の採用試験を受けました。民間企業との違いに戸惑うこともありましたが、先輩の丁寧な指導で、安心して働くことができています。現在は、庁舎の電気設備の工事や委託業務の発注、省エネ推進などを担当しています。

県の電気職は総務部・土木部・企業局、ダム管理事務所や天草空港など、幅広い分野で活躍できます。仕事を通して知識も増え、成長を実感できると思います。

世界にも例を見ない
アートポリス事業が魅力です。



建築 土木部 住宅課 平成30年入庁

入庁して初めての業務が学生時代から魅力を感じていた「くまもとアートポリス事業」でした。熊本地震で被災した公民館を地域づくりを担う拠点施設「みんなの家」として整備しました。地域の方の「復興が一步前進した、ありがとう」という言葉を聞いたときは、うれしさと同時にやりがいを感じました。

現在は、県営住宅の改修工事の設計委託や工事の発注・監理業務を担当しています。建築職の仕事は多岐にわたります。新しい業務を経験する度に仕事の幅が広がり、充実した毎日を過ごしています。大好きな熊本県に微力ながらも貢献できるよう今後とも頑張っていきます。

環境保全の分野で
県の歴史の一部に
貢献できる仕事です。



化学 環境生活部 環境保全課 平成23年入庁

化学職は身近な生活環境から地球環境まで、広く環境に関わる業務に携わります。私は環境アセスメントを担当し、会議の運営や関係先との調整などを行っています。印象に残っているのは、以前担当した河川や海域の水質調査計画を作成する仕事です。自分が生まれるずっと前から行われている仕事に携わることができ、県の歴史の一部に貢献できたことをうれしく思いました。



熊本は全国有数の農業県。
野菜と花を多くの人に届けています。

農学 芦北地域振興局 農林部
農業普及・振興課 平成28年入庁

農学職の業務には、生産流通対策などの行政業務、農業技術の普及指導業務、試験研究業務があります。県内各地で農業振興に携わることができ、たくさんの農家の方との出会いがあります。

現在は、農家の方へ野菜と花卉(かき)の栽培技術指導を行い、生産技術の普及や農業経営の安定化を支援しています。また、市町村役場やJAと連携し、特産品の産地化やブランド化にも取り組んでいます。農家の方から直接お礼の言葉をいただける機会も多く、やりがいを感じています。



熊本の豊かな森林を守り
未来へ伝えていきます。

林学 球磨地域振興局 農林部
森林保全課 平成30年入庁

熊本地震を機に、県職員として熊本県のために働きたいと決意しました。林務行政は、一般的な林業や自然公園の管理など業務内容は幅広く、現在は、豪雨で被害を受けた森林や治山施設の復旧業務に当たっています。

森林は、県と県民の財産です。治山や林務は目立たない仕事かもしれませんが、未来の森林の姿を想像し、災害から県民の生命と財産を守るやりがいのある仕事です。



研究・普及・行政を通して
熊本県の畜産振興に
貢献できます。

畜産 農業研究センター 畜産研究所
平成29年入庁

畜産研究所で飼料作物や家畜のふん尿処理に関する研究を行っています。熊本県独自で行う研究の他に、国等の研究機関や民間企業と共同研究を行い、畜産分野が抱える課題の解決に取り組んでいます。研究の成果が形になったとき、大きなやりがいを感じました。

畜産職には試験研究業務の他にも、技術・経営の普及指導業務や補助事業などを行う畜産行政業務もあり、熊本県の畜産振興に多方面から貢献できます。



熊本の水産業の振興と
食の安全を守る仕事です。

水産 水産研究センター
食品科学研究部 平成31年入庁

熊本県の水産業をさまざまな角度から支える試験研究などの仕事に魅力を感じ、県職員を志望しました。配属された水産研究センターでは、海藻の増養殖の研究や貝毒分析、水産物の加工品の試作や細菌検査を担当しています。漁業者と一緒に仕事を行うことも多く、海藻の養殖試験をしたり、試作したすり身や佃煮を試食したりしながら一緒に悩むこともありますが、すべてが貴重な経験です。今後、漁業者の皆さんに積極的に話を聞きながらスキルアップし、少しでも役に立てる県職員になりたいです。

わたしたちの仕事

Our Business

専門知識を生かし、他の職種と連携して多様な業務に取り組みます。

免許系



健康づくりに携わり、
県民を笑顔にできる仕事です。

保健師 健康福祉部 子ども家庭福祉課

平成28年 入庁
平成28年 鹿本地域振興局 保健福祉環境部(山鹿保健所) 保健予防課
令和2年 現所属

県の保健師は、広域的な視点で地域全体の健康づくりに携わります。難病や精神疾患の方の支援、感染症対策など幅広い業務があり、関係機関との連携が欠かせません。現在は里親支援や虐待予防につながる母子保健事業を担当。感染症の感染拡大や自然災害が発生した際は、他所属の応援や被災地支援も経験しました。

仕事で悩んだときは、上司や同期、地域の皆さんと一緒に考えることで、視野が広がり、方向性が見えてきます。出会った方の笑顔が見られるとうれしくて、関わることができてよかったと感じます。地域の皆さんが体も心も健康に暮らせるように、保健師としてサポートしていきたいです。

ある日のスケジュール

- 8:10 ● 登庁
- 8:30 ● 業務開始
- 10:00 ● 里親研修資料作成
- 12:00 ● 昼食・休憩
- 13:00 ● 児童相談所へ外出
- 13:30 ● 里親支援機関の定例会
- 16:00 ● 定例会終了、報告書作成
- 17:15 ● 業務終了





「子どもたちのために」という熱い思いを胸に
チームワークを發揮します。

社会福祉 福祉総合相談所 一時保護課 平成25年入庁

児童相談所で一時保護された子どもたちの生活支援を行っています。子どもたちがたくさん食べ、たくさん遊び、たくさん笑顔を見せてくれることが一番の喜びです。子どもたちを見守るためには、チームワークが大切です。職員間で連携し、職務を遂行しています。

利益ではなく人のために何かができる、そのために自分の力を生かせる仕事です。周囲の人にも恵まれ、県職員になって本当によかったと思います。



薬剤師として幅広い視点から
県民の安心を支えています。

薬剤師 健康福祉部 業務衛生課
平成27年入庁

県の薬剤師は医療現場だけでなく、さまざまな分野で県民生活を支えています。阿蘇保健所勤務時には旅館や飲食店の許認可業務に携わりました。現在は医薬品や医薬部外品、化粧品、医療機器などを製造・販売するための許認可業務を担当しています。

この仕事に就いていないと経験できないこと、知らないことがたくさんあります。新しいことへの挑戦が、自身の成長にもつながります。



県の保育士でしか得られない
経験や喜びがあります。

保育士 子ども総合療育センター 地域療養部 平成29年入庁

医療型児童発達支援センターの肢体不自由児クラスを担当しています。療育を続けるうちに、子どもたちの表情が豊かになったりできることが増えたりしたときに、子どもたちの成長を感じることができ、喜びを感じます。

社会的立場の弱い子どもたちとその家族の支援など、県の保育士でしかできない業務に携われます。専門的な知識を得ることで、保育士としても成長できます。



臨床検査技師のイメージを越える
幅広い分野で活躍できます。

臨床検査技師 玉名地域振興局 保健福祉環境部
(有明保健所) 衛生環境課
平成28年入庁

県立病院での臨床検査の他、幅広い業務に携われることに魅力を感じ、県職員を志望しました。現在は、食品衛生や水道、温泉に関する業務を担当。飲食店の監視指導や講習会の実施、温泉掘削の際の現地調査なども行います。新型コロナウイルス感染症対応には、県職員一丸となって取り組んでいます。

臨床検査技師の仕事のイメージとは全く異なる業務もありますが、獣医師や薬剤師、保健師など、多職種に囲まれて刺激を受けながら働いています。



子どもたちとご家族を支援し、
ともに成長できる仕事です。

看護師 子ども総合療育センター 診療部 平成26年入庁

障がいまたは障がいの疑いのある子どもたちを対象とする病院で働いています。病院での子どもたちの様子をご家族に伝え、ご家族と子どものつなぎ役になれるように心がけています。

子どもたちの小さな変化や成長に気づけたとき、喜びを感じます。看護師としてケアを行う側ですが、子どもたちに癒やされ、助けられることも多いです。ご家族の言葉にも励まされます。

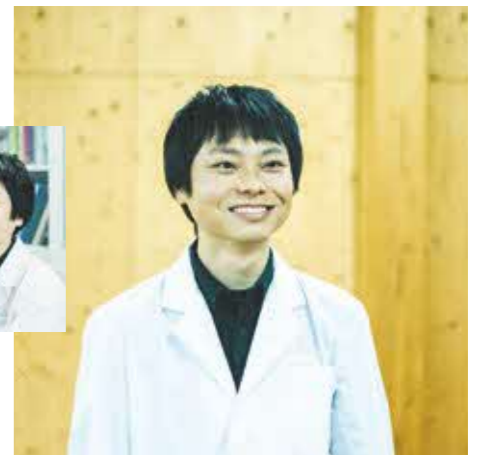
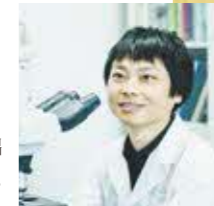


獣医師の知識を生かし、
熊本県の畜産業を支えます。

獣医師 中央家畜保健衛生所 検査課 平成24年入庁

大学で家畜の防疫に興味を持ち、県職員を志しました。山口県出身ですが、畜産が盛んな地域で働きたくて、熊本県を受験しました。現在は、家畜の病気の原因を究明する病理検査を担当しています。

平成26年と28年に本県で高病原性鳥インフルエンザが発生したときには、県職員と自衛隊が協力して迅速な防疫措置をとることができました。畜産農家の財産である家畜の病気を防ぎ、農家の所得向上に貢献できるよう、獣医師としての使命感を持って取り組んでいます。



先輩職員に聞きました！ Message

職場の雰囲気や仕事のやりがいから、プライベートまで。
入庁4年目の若手職員に本音を直撃！
熊本県職員を目指す皆さんへのメッセージもお届けします。

行政 健康福祉部 医療政策課 Hさん

鹿本地域振興局土木部 維持管理調整課で河川管理業務等を経験。現在は医療関連の補助金業務や所属部署の経理業務に従事。大学は熊本。

行政 総務部 県政情報文書課 Kさん

県南広域本部保健福祉環境部 福祉課で生活保護のケースワーカーを経験。現在は文書審査や条例審査、行政不服審査会の運営を担当。大学は福岡。

薬剤師 保健環境科学研究所 生活化学部 Yさん

保健環境科学研究所で4年目。野菜や畜水産物に含まれる残留農薬等の検査、食中毒発生時の分析法を開発する調査研究などを担当。大学は福岡。

農学 農業研究センター 農産園芸研究所 Fさん

1年間高校の臨時教員を務めた後、入庁。球磨地域振興局農林部 農業普及・振興課を経て、現在はイチゴの新品種育成に従事。大学は沖縄。

公務員って、デスクワークだけじゃない！ 熊本を舞台に、広く大きな仕事をしよう。

——県職員を目指したきっかけは？

行政H 「将来何をしたい」という目標が見つからなくて、大学3年のときに、周りが勉強を始める姿を見て、焦って公務員講座を受講しました。公務員は「堅くて、デスクワークばかりで、静かな人が多い」というイメージでしたが、説明会に参加してみると、職員の方が明るくて、職場も活気があり、興味を持ちました。



薬剤師Y 薬剤師は病院や薬局に就職する人がほとんどですが、私は調剤以外の仕事もしたいと思って就職先を探しました。熊本県の薬剤師は、調剤だけでなく、研究機関や公衆衛生分野でも働くことができると知り、県職員を志望しました。

農学F 農業高校の臨時教員を1年経験してから、採用試験を受けました。教員の仕事は魅力的でしたが、県の農業振興に直接携わり、生産者の栽培技術を向上させる仕事をしたいと、県職員を目指しました。

行政K 私も教職課程を取っていて、ちょうど県の採用試験と教育実習が重なってしまいましたが、最終的には、より多くの県民と関わりを持つ県職員になることを目指し、採用試験を受けることにしました。

——実際に働き始めてどうでしたか？

行政K 入庁後3年間、生活保護のケースワーカーをしていました。私が担当していた方に異動を伝えると、「寂しくなるね」と言われ、信頼関係が築けてよかったなと思いました。今は全く違う業務で、文書や条例の審査を担当しています。法律のチェックなども必要で、まだまだ勉強中です。

農学F 最初は分からないことだらけですね。入庁1年目のときは、先輩職員がトレーナーとして付いてくれるので、仕事のサポートを受けながら一緒に農家を回りました。業務によっていろいろな研修もあって、少しずつ慣れることができました。今はイチゴの新品種育成に取り組んでいます。

行政H 鹿本地域振興局の土木部に配属され、最初は業務用語も道も分からなくて、道路の名前を覚えるところから始めました。現在は、医療政策課で経理や補助金の業務を担当しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあって慌ただしく、慣れるまでは大変でした。

薬剤師Y 研究所に配属になり、精密機器を使うなど初めてのことがばかりで、先輩に一から教えてもらいました。皆さんと違って、これまで異動したことがなくて、そろそろ異動かもしれないので、どこへ配属になるのか不安も少しあります。

——職場の雰囲気はいかがでしたか？

行政H 土木部は技術職の方たちがいっぱいにぎやかでした。私が思い描いていた公務員とは違って、みんな和気あいあいとしていて、優しく、部署に関わらず、若手同士でもとても仲良くなりました。

農学F 球磨地域振興局で勤務していたときは、単身寮に住んでいて、トレーナーさんと同期とよく飲みに行き、楽しかったですね。農林水産部は部署対抗のミニバレー大会があって、オリジナルのTシャツやタオルを作り、盛り上がりました。

薬剤師Y 職場の雰囲気は良く、皆さん優しいです。ミニバレーや卓球、テニスなど、スポーツが盛んで、私もミニバレーを頑張っていました。

行政H 保健環境科学研究所はミニバレーが強いんですね。土木部では野球大会があるので、大会前に野球の練習をしました。

行政K いろいろなイベントがありますよね。私も県南広域本部で勤務していたときにはミニバレーの全庁大会に向けて、定時退庁の水曜日に、職場内の有志で毎週楽しくミニバレーをしていました。(※)

——仕事の後や休日の過ごし方は？

行政H 岩盤浴や映画に行きます。同期や先輩とキャンプに行ったこともあります。

農学F 最近ゴルフにはまって、仲良くなった同期



と練習に行ったり、ラウンドを回ったりしています。車も好きで、休日は時間が足りません(笑)。そういえば、Kさんは新婚ですね。

行政K 結婚しました。家に帰ったら誰かがいるというのはうれしいですね。仕事もがんばろうと思います。

他3人 いいなあ(笑)。

行政H Yさんは異動が不安と言われていますが、私は、異動してから女性の先輩と仲良くなって、一緒に買い物に行くこともあります。

農学F 異動で出会いがあるかもしれないですね。異動、いいですよ(笑)。

薬剤師Y 異動、いいですね(笑)。



——今後、チャレンジしてみたい仕事は？

農学F イチゴの新品種を作るという目標と、イチゴの栽培面積が減少しているので、対策を考えたいです。将来は補助金業務などにも携わり、少しでも生産者の力になればと思います。

薬剤師Y まだ研究所しか経験していないので、保健所や県庁で働いてから研究業務に戻ると、視野が広がると思います。さまざまな視点から行政検査や調査研究に取り組みたいです。

行政K 行政職は分野が幅広く、特定の分野に絞るのは難しいですが、今まで経験したことがない観光関連の業務や、教員を目指していたこともあり、教育関係の仕事にもチャレンジしてみたいです。いろいろな仕事ができる幅広さが行政職の強みだと思います。

行政H 行政職の正解を聞いてしまった(笑)。私は公務員を志望したときに、県の行政職はいろいろなことができるので入ってみようと思いました。だからきついこともあるんですけど(笑)、いろいろな部署で経験を積んで、今後の業務に生かしていきたいです。

——県職員の魅力とは？

農学F 以前は、公務員は「デスクワークが多く堅苦しい」というイメージ

を持っていましたが、働いてみると全く違いました。農学は現場でアクティブに動きたい人にも合っていると思います。

薬剤師Y 市町村に比べて、県はいろいろな職種の人が働いています。バックグラウンドが違う人と一緒に仕事ができることは、とてもいいです。

行政K 出身地の近くで勤務したときにも、全然知らない道があり、知らなかった地域の祭りがありました。今まで知らなかったことが、県内だけでこんなにあるんだと、働き始めて気づきました。

薬剤師Y 地域の魅力を知れるってことですね。

行政H その土地で働かないと分からない良さもあり、多くの地域に行けるのは魅力だと思います。遠くに行くのは嫌だと思える人もいるかもしれないけれど、行ってみると楽しいですよ。

農学F 地域も職場もいろいろな所に行けるからいいですね。Yさんは学生のときに研究の仕事に就くと考えていましたか？

薬剤師Y 想像もしていなかったのですが、楽しいです。熊本県で発生する可能性がある食中毒の研究など地域性のある研究もします。また、県内で流通している野菜・肉・魚の検査を行うので、県の食の安全を守っていると感じます。

行政K 食の安全を守る、カッコいいですね！県職員だからできることって何でしょうか。医療政策課では新型コロナウイルス感染症の対応など、県がリーダーシップをとっているのでは？

行政H そうですね、市町村をまたいだ入院調整、新型コロナウイルス感染症入院受け入れ医療機関への空床補償、設備整備の補助など幅広く業務を行っています。

行政K 県職員は県民と直接やりとりを行う仕事から広域的な仕事まで、仕事の幅が広いですね。

行政H 大きな仕事をしたい人にとっても、やりがいがあると思います。

——皆さんへメッセージをお願いします。

全員 県職員だからできる、広く大きな仕事があります。一緒に働ける日を楽しみにしています！

※県庁全体や各部署で、さまざまなスポーツイベントが開催されています。



わたしたちの、仕事と暮らし。

Work & Life

熊本県では、子育て中の職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

第二子の出産に伴う育児休業から復帰し、子育て支援制度を活用しながら働いています。育児休業は、最大で子どもが3歳になるまで取得が可能。私は、第一子のときに2年間、第二子のときに1年間取得しました。子どもがかわいい時期に、一緒にゆっくり過ごすことができ、成長を間近で感じることができました。

現在は、育児時間休暇を朝60分、夕方30分取得し、子どもを看病する際は時間単位で取得ができる看護休暇を利用して使っています。職場では終業時間を過ぎると、「大丈夫？」と声をかけていただいたり、子育ての先輩が身近にいて、アドバイスをいただいたりすることもあり、心強く思っています。子どもの急病などで休む場合は、同僚に対応をお願いすることもあるので、データや書類は分かりやすく整理することを心がけています。

子どもの福祉に関わる業務を行っており、子どもが生まれてから業務をより深く理解できるようになりました。仕事で得た知識を子育てに生かせることもあります。仕事と育児・家事の両立は正直大変ですが、オンとオフの切り替えが効率的にできるところが私には合っていると思います。

朝の出勤するまでの時間は貴重です。子どもの登園準備をしながら、夕食の下準備やお風呂掃除などの家事を行い、子どもを保育園へ連れて行って、そのまま出勤。仕事は、時間通りに帰れない日もありますが、家族で協力しながら育児を行っています。忙しい時期には、夫婦で仕事を調整してお迎えを分担。子どもたちも「ママ、お仕事がんばってね!」と応援してくれます。子どもの笑顔は、最高の癒やしです。

熊本県は子育て中の職員に理解があり、協力的な職場です。仕事も育児も、楽しみながら頑張れると思います。将来、皆さんと“子育てあるある”を話しながら、笑い合える日を楽しみにしています。

職場と家族の協力で
仕事も育児も楽しみながら
毎日頑張っています。



妊娠・出産 子育てに 関する主な制度

その他の制度や詳細は
熊本県職員採用ガイドへ。



ライフステージ	制度	給与の有無	男性	女性	内容・利用期間
妊娠	不妊治療休暇	有給	○	○	不妊治療を受けるとき、年6日以内
	保健指導や健康診査を受けるときの休暇	有給	○	○	保健指導や健康診査を受けるときに、妊娠週数や医師等の指導に基づき必要と認められる時間
	妊娠障害のために勤務することが困難な場合の休暇	有給	○	○	つわりや切迫流産などのために勤務することが難しい場合で、1回の妊娠につき14日以内
出産	産前産後休暇	有給	○	○	産前8週間から産後8週間まで
	出産補助休暇	有給	○	○	配偶者の出産に伴う入院の付き添いなどを行うとき、配偶者の出産前後で、3日以内
	男性の育児参加休暇	有給	○	○	未就学児養育のため、配偶者の出産予定日の8週間前から出産後8週間までの期間で、5日以内
育児	育児休業	無給(※)	○	○	子どもが3歳になるまでの期間 ※子どもが1歳になるまでは共済組合から育児休業手当金を支給
	育児時間休暇	有給	○	○	子どもの保育園への送迎等を行うとき、子が3歳になるまでの期間で、1日90分以内
	育児短時間勤務	一部を減給	○	○	子どもを養育するため、子が小学校に入学するまでの期間で、勤務時間を短縮(定められた勤務形態から選択)
	部分休業	一部を減給	○	○	子どもを養育するため、子が小学校に入学するまでの期間で、1日2時間以内
	子の看護休暇	有給	○	○	中学校就学前までの子どもを看護(看病や通院等の世話など)するとき、年5日(子が2人以上いる場合は10日)以内

効率的に働き、
趣味と家族との時間を
大切にしています。



早く帰った方が夕食を作り、子どもを迎えに行くなど、夫婦で分担して家事や育児を行っています。県北広域本部勤務だったときには、早出勤を活用し、渋滞を避けて早朝に出勤。夕方には、育児時間休暇を30分取得。午後5時ごろには保育園へ迎えに行き、帰宅後は育児をしながら夕食の準備をしていました。妻は、朝から育児時間休暇60分を取得。朝と夕方の育児を分担することで、お互いの仕事を調整していました。

子どもが生まれるまでは支援制度について詳しく知りませんでしたが、上司が積極的に利用するよう勧められ、子どもが病気で1週間休んだときには、妻と交互に看護休暇を取得することができました。制度があっても職場の理解や協力がなくては活用できないので、感謝しています。県でもテレワークが導入されましたが、私の部署では数年前からタブレットが導入されており、出張先や自宅でもメールの確認ができるので、急ぎの対応もでき、便利です。

仕事や育児のほかにも、スポーツや仲間と飲みに行くことが好きで、プライベートの時間を確保するため、効率を意識して働いています。野球、マラソン、スポーツ玉入れなど、休暇を取って県外の大会に出場したこともあります。妻とはお互いの趣味の時間を尊重しながら、休日は子どもと公園に出かけたりするなど、家族の時間も大切にしています。

県職員は、子育て支援制度を含む福利厚生が充実し、組織として積極的に利用を推進しているので、男性でも安心して仕事と子育てを両立することができます。家族との時間も趣味の時間も大切にしながら働くことができる職場であることが最大の魅力だと感じています。

総合土木 農林水産部 農村計画課
【長女4歳、次女2歳】

ある日のスケジュール

- 4:00 ● 起床
ランニング、シャワー
洗濯、朝食、登園準備
- 7:15 ● 登庁
- 7:30 ● 業務開始 ※早出勤
- 12:00 ● 昼食、休憩
- 13:00 ● 午後の業務開始
- 15:45 ● 業務終了 ※育児時間休暇30分取得
保育園へお迎え
- 17:30 ● 帰宅、夕食準備
- 18:00 ● 夕食、入浴
- 21:00 ● 就寝

行政 健康福祉部 子ども家庭福祉課
【長男3歳、長女1歳】

ある日のスケジュール

- 6:00 ● 起床、朝食
- 7:30 ● 登園準備、掃除などの家事
- 8:30 ● 子どもたちを保育園へ
- 9:15 ● 登庁
- 9:30 ● 業務開始 ※育児時間休暇60分取得
- 12:00 ● 昼食、休憩
- 13:00 ● 午後の業務開始
- 16:45 ● 業務終了 ※育児時間休暇30分取得
保育園へお迎え
- 18:00 ● 帰宅、夕食準備
- 19:00 ● 夕食、入浴、洗濯、保育園準備
- 22:00 ● 就寝

働きながら学び、成長できる。

人材育成

Human resource development

職員のスキルとマインド、チャレンジ意欲を向上させ、成長をバックアップするため、各種機関へ職員を派遣するほか、多彩な研修制度を用意しています。

各種機関への職員派遣

国土交通省へ派遣 国の動きを知り、視野が広がりました。

国土交通省への派遣を希望したのは、好奇心からです。県の道路整備課で予算業務を経験し、国交省では県が担当する事業に予算を配分する仕事を担当していたので、予算に関する全体の流れを理解できました。また、国交省の施策の一つとして、「道の駅」の事業にも携わり、国土交通大学校での研修も受けるという濃い1年間でした。仕事は大変でしたが、視野が大きく広がりました。

それまでは受け身の姿勢で働いていましたが、常に最新の情報を意識し、すぐに動けるようになりました。以前は国の機関と打ち合わせがあると緊張していたのですが、国交省での勤務を経て、自信ができました。他県の派遣職員とも知り合い、広く人脈を築けたことは大きな財産です。困った時に相談できる人がいるのは心強いです。

私は異動の度に、河川、道路、漁港、砂防と、異なる分野を経験してきました。毎回初めての業務で勉強の連続ですが、経験を積んだ先輩がサポートしてくれます。土木の専門的な研修や資格取得の支援もあり、入庁してから知識の向上を図れます。熊本県に就職しても、県だけにいるとは限りません。派遣研修だけでなく、東京事務所や大阪事務所、外部との人事交流もあります。先輩の皆さんには県という枠組みに収まるのではなく、いろいろな挑戦してほしいです。



総合土木

球磨地域振興局 土木部 工務課

平成21年 入庁
平成21年 熊本土木事務所 工務第二課
平成23年 同事務所 維持管理課
平成24年 天草地域振興局 農林水産部 漁港課
平成27年 土木部 道路整備課
平成28年 国土交通省(派遣研修)
平成29年 土木部 道路整備課
平成31年 現所属



東京大学大学院へ派遣 社会人になってからも学び続け、成長できます。

東京大学公共政策大学院で、学生として2年間学びました。大学院を受験しないかと言われたときには驚きましたが、派遣経験のある先輩方から興味があるものを自由に学べると聞き、大学院では幅広い分野を受講しました。各分野の第一人者である教授から法令や制度の背景や考え方を伺い、現役官僚や民間のゲストスピーカーから課題をどのように解決するか、理念も含めて学ぶことができました。自分の実務経験をもとに理論と実際の現場を結び付け、教員や学生と議論を深めることで理解が進み、今の仕事にも役立っています。

大学院では、授業料を私費で支払い、業務と並行しながらあるいは休職して受講される方がいましたが、熊本県では授業料を県が負担し、派遣研修として受講することができ、恵まれていると感じました。

熊本県ではスキルアップ研修やチャレンジ塾など、研修制度が充実しています。研修は頭の整理やリフレッシュにもなり、視野が広がります。また、行政職はさまざまな職場に異動するため、常に刺激を受け、新たな価値観を取得できます。社会人になってからも、いろいろなことを学び、成長できます。



行政

企画振興部 情報政策課

平成16年 入庁
平成16年 土木部 監理課
平成19年 球磨地域振興局 総務部 税務課
平成22年 環境生活部 環境保全課
平成23年 環境生活部 水俣病審査課
平成27年 東京大学公共政策大学院
平成29年 総務部 財政課
平成31年 現所属



多彩な研修制度

必修研修

新規採用職員研修のほか、4年目、7年目、10年目、新任管理職等、各階層別に研修を行い、県職員として求められる意識の醸成、能力開発をサポートします。

新規採用職員研修

県職員としての意識の醸成、社会人としての基本的マナーや知識・技術を身につけるため、年3回の研修で社会人としてのスタートを支援します。現地見学やグループワークでの討議を通じて、県民の視点で考えることの重要性を学ぶとともに、新規採用職員同士の連帯感と協調性を培います。

特別研修

特定の役割・課題に関する研修を行い、個々の役割に基づく円滑な業務遂行をサポートします。

チャレンジ塾

中堅職員を対象に、今後組織をリードする立場になっていくことに備えての能力強化を図ります。スタッフとしての立場から目線を上げ、視野を広げていくための第一歩を踏み出す職員のチャレンジ意欲を後押しします。

選択研修

あらゆるテーマの中から、個々の業務ニーズや強み・弱みに応じて研修を受講することができます。職員一人ひとりの主体的な能力開発をサポートします。

スキルアップコース

「分かりやすい資料づくり」、「タイムマネジメント」、「プレゼンテーションスキル」など、業務に直結する研修を多数準備し、職員一人ひとりが受講したい研修を選択することができます。自分自身のスキルアップに加え、各業務に必要な知識・技術を習得します。

自己啓発支援等

eラーニングのほか、チャレンジグループ支援や研修用機材の貸出等、意欲ある職員の自主的な勉強会や自己啓発のための学習をサポートします。

eラーニング

職員の自主的な能力開発をサポートするため、仕事の進め方からPCスキルや語学力まで、あらゆる知識の習得に必要な講座を受講することができます。場所・時間に制約されない研修機会を提供し、各職員の知識・能力の向上を図ることを目的に100種類以上の講座を準備しています。

勤務条件

給与(行政職) ●大学卒業程度/202,400円(大学院修士課程を修了した場合/213,200円)
●高等学校卒業程度/170,900円(高等専門学校卒業の場合/181,800円)
※令和6年(2024年)1月1日現在
※学歴や民間企業等の勤務歴がある場合は、経験年数に応じて一定の基準により加算される場合があります。
※研究職・医療職の給料表が適用される職種では、上記金額と異なります。
※上記給料のほか、期末・勤勉手当や、支給要件を満たす場合に扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。

給与のモデルケース(目安)

- 大学卒業程度の試験(行政職)で採用され、入庁8年目(30歳)。
- 扶養親族は配偶者と子ども1人で、家賃6万円の賃貸住居に居住。
- 通勤は、片道6kmの距離を交通用具(自転車や自家用車等)で通勤。

基本給	256,200円
扶養手当(配偶者)	16,500円(配偶者6,500円、子ども1人10,000円)
住居手当	27,500円
通勤手当	5,500円
合計	305,700円

※このほか、正規の勤務時間を超えて勤務した場合には、時間外勤務手当が支給されます。
※6月及び12月には、期末・勤勉手当が別途支給されます。

勤務時間 月曜日から金曜日までの8時30分～17時15分(基本)
※勤務場所によっては、一部異なる場合もあります。
※ワーク・ライフ・バランスの推進等を目的に、時差出勤の制度があり、勤務時間を7時30分～16時15分に繰り上げや、9時30分～18時15分に繰り下げなど、数種類の勤務パターンから選ぶことができます。

勤務地 ●本庁 ●広域本部(熊本市・菊池市・八代市・天草市)
●地域振興局(宇城市・御船町・山都町・玉名市・山鹿市・阿蘇市・芦北町・水俣市・人吉市)
●県外事務所(東京都・大阪府・福岡県) ●個別出先機関(県内各所)
※警察行政(警察事務)は、警察本部、警察署(23か所)等。
※教育行政(教育事務)は、教育委員会事務局、公立学校(県立学校及び熊本市を除く市町村立学校)等。
※本庁各課や広域本部、地域振興局等の出先機関といった様々な部署で勤務します。
そのほか、採用後に任命権者が異なる部署に勤務することもあります。
※人事異動は、任命権者によって異なりますが、知事部局の場合、概ね3年～5年に一度異動があります。

休日 完全週休2日制(土日)・祝日・年末年始(原則) ※勤務場所によっては、曜日が異なる場合もあります。

休暇 ●年次有給休暇/年間20日 ※4月1日採用の場合、採用1年目は15日 ※年次有給休暇は、1時間単位から取得可能です。
●夏季休暇/5日 ●結婚休暇/5日 ●ボランティア休暇/5日
※その他、各種休暇(病気休暇、介護休暇など)・休業制度があります。

福利厚生 (知事部局の場合)

福利厚生の主なものには、健康管理、職員住宅、レクリエーションに関する事業のほか、共済組合、互助会からの貸付などがあります。

健康管理 全職員を対象とした健康診断やストレスチェックを年1回実施するほか、健康づくりのための研修などを実施しています。また、本庁内に健康サポートセンターを設置し、産業医や保健師が職員の心と体の健康相談・支援を行っています。

職員住宅 県内5地区(熊本市、阿蘇、芦北、球磨、天草の各地域)に世帯用13住宅(300戸)、単身用3住宅(128戸)があります。

共済組合 職員に保険証(共済組合員証)を交付し、病気・ケガ等に対して必要な医療給付を行っています。また、職員の退職などに対する年金の給付や職員への住宅資金などの貸付を行っています。さらに、本庁内に診療所を設置し、主に内科の診療を行っています。
※組合員である職員の健康保険及び年金業務などを行う団体

互助会 入院見舞金や結婚祝金などの給付金の支給、教育費や交通用具の購入などに対する貸付を行っています。また、食堂(新館地下)、喫茶(新館ロビー)、議員サロン(議会棟)を運営し、安心安全な食を提供することで職員の健康をサポートしています。
※会員である職員の福祉の増進に関する事業(共済事業、貸付事業など)を行う団体。



#熊本カフェ #熊本カフェ巡り #熊本スイーツ #古民家カフェ #番茶ジェラート



#黒川温泉 #湯あかり #ライトアップ #阿蘇 #温泉 #夜景 #幻想的



#器好き #熊本の器 #九州の陶磁器 #伝統的工芸品 #器のある暮らし



#熊本グルメ #馬刺し #桜肉 #お肉大好き #郷土の味 #くまもとの赤



#熊本温泉 #温泉 #温泉大好き #温泉旅行 #日帰り温泉 #週末プチ旅行 #癒やしの時間



#錦ヶ滝 #熊本の滝 #まるで水のカーテン #滝巡り #マイナスイオンたっぷり



#熊本の柑橘 #不知火 #しらぬい #甘酸っぱい #ジューシー



#阿蘇 #阿蘇旅 #パラグライダー #アウトドア #快晴 #青空 #空から絶景



#クリスマスマーケット熊本 #クリクマ #熊本クリスマス #竹あかりツリー



#熊本カフェ #熊本カフェ巡り #熊本ランチ #阿蘇カフェ #阿蘇 #素敵な休日



#熊本夜景 #夜景スポット #熊本絶景 #趣味はカメラ #県庁写真部つくりたい



#キャンプ #阿蘇 #阿蘇キャンプ #週末キャンプ #自然 #絶景 #リフレッシュ #アウトドア



#天草 #イルカウォッチング #海 #野生のイルカ #かなり接近



#熊本グルメ #熊本ランチ #阿蘇グルメ #阿蘇 #あか牛丼 #肉好き #くまもとの赤



#熊本 #阿蘇 #草原 #噴煙 #熊本絶景 #癒やされる



#熊本城 #kumamotocastle #天守閣 #復興のシンボル #創造的復興



#天草 #天草グルメ #ちゃんぽん #海鮮ちゃんぽん #熊本ランチ #熊本グルメ #麺好き



#御興来海岸 #おこしきかいがん #干潟 #熊本絶景 #日本の渚百選 #日本の夕陽百選



#熊本ランチ #熊本グルメ #熊本カレー #行列しても食べたいカレー



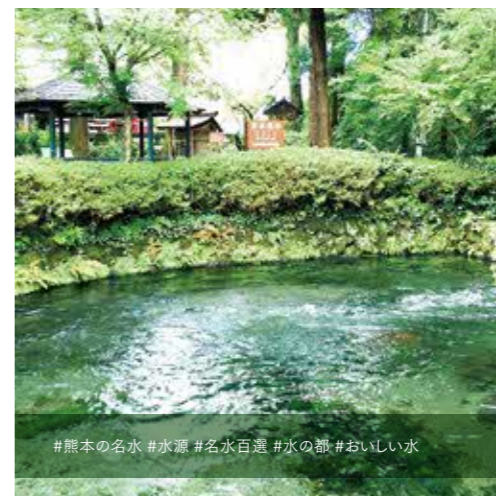
#熊本県オリジナルいちご #ゆうべに #くまもとの赤 #2015年イチゴイヤー生まれ



#花火 #やっしる全国花火競技大会 #八代花火大会 #fireworks



#熊本テイクアウト #熊本ランチ #熊本グルメ #アジアごはん #ベトナム料理 #バゲットサント



#熊本の名水 #水源 #名水百選 #水の都 #おいしい水



#熊本グルメ #天草グルメ #天草 #海鮮丼 #ランチ #新鮮魚介 #週末観光

ぱい熊本県!

The charm of Kumamoto

いいところ